

電気通信工事業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	発電所工事において、整地工事に使用する砕石が足りなくなり、元請の指示により、被災者（下請会社社員）が砕石置場に取りに行くこととなり、ダンプカーで路上を走行中に、センターラインをはみ出した対向車と衝突し、右手・右足・頸部を負傷した。	26～29	10～29
2	14～15	一部増強工事で使用する土留しながら材用の丸太を買付け後に丸太を4t車に積んで現場に戻る途中で、左前輪タイヤがパンクしたため路側帯に停車した。助手席の同乗者は直ちに三角停止板を設置するために車外へ出て数台を通過させた。そこへ脇見運転の中型トラックが速度を緩めないまま突っ込んで来て停車中のトラックに衝突した。その衝撃で停車中のトラックが10m程度移動した。同乗者は直ちに被害トラックの前方に回り運転席の運転者を捜したが、キャビン内で発見出来ず、その後トラックとコンクリート壁の間に挟まれた運転者を発見した。停車から事故発生まで2～3分と思われる。	59	1～9
5	10～11	通信ケーブル敷設工事を実施するため、片側交互通行規制を実施中、第一当事者（被災者）が不足している材料を取りに行くため、西側から道路を横断し東側の民地に駐車していたユニック車に向かう際、左側より歩道を進行してきた第二当事者（相手方）であるタクシーに接触し転倒した。	47	100～299
6	16～17	電気工事を終え、翌日使う予定の電気工事の材料を受け取り、会社に帰る途中、右折しようとして直進の車と接触後、停車中の車にぶつかり、肋骨、頭部等を負傷した。	49	1～9
	15～	現場から現場へ移動中の事故である。二車線の道路を走行中、左追い越し車線か		30

6	16	ら右車線へ車線変更を行う際、前方の車に気づかずにハンドルをきり、車が横転する事故となった。	65	～ 49
6	13～ 14	県道をWピックアップ（普通トラック）で運転中、雨が降って路面が濡れ、下り坂にて左カーブ手前でスリップし、左側路側に接触して右側の雑木林に突っ込み、胸椎破裂骨折をした。リース会社から現場へ帰る途中に、発生した。	61	～ 49
7	2・3	高圧ケーブル張替作業中に滑材が不足したため、作業を中断し滑材が届く間、車両荷台上の端で待機中に走行してきた乗用車が突っ込んで来たので、荷台中央に逃げる際に荷台の縁に左足の甲をぶつけた。	38	～ 29
7	2・3	高圧ケーブル張替作業中に滑材が不足したため、作業を中断し滑材が届く間、歩道で待機中に走行してきた乗用車が突っ込んで来て、はねられた。	65	～ 29
7	2・3	19.8KP付近走行側を規制マニュアル通りに規制作業していたところに中型貨物自動車（4t）（道路一般利用者）が、規制作業にかなりのスピードで追突し規制車（4t車）が大破し、はずみで規制車の斜め前方で監視していた被災労働者に突っ込み、規制車（4t車）と高速道路側壁に挟まれ、被災労働者の下腹部を直撃した。	53	1～ 9
7	1・2	高速道路上（走行側）で設備点検のため保安設備の設置中に規制標識車（4t）に一般通行車両の4tトラックが追突し作業員に直撃した。	54	1～ 9
9	16～ 17	小学校の現場から会社に戻る途中の緩やかな左カーブの上り坂を走行中、センターラインをはみだし、対向車の10tダンプカーと正面衝突した、同僚の運転する軽ワゴン車の助手席に乗っていたが、怪我をして病院に運ばれた。	30	1～ 9
9	16～ 17	小学校の現場から会社に戻る途中の緩やかな左カーブの上り坂を走行中、センターラインをはみだし、対向車の10tダンプカーと正面衝突した、被災労働者が軽ワゴン車を運転しており、救急クリニックに運ばれたが、約3時間後に死亡した。	21	1～ 9
10	10～ 11	被災者は1人で交通信号機保守管理業務に従事していた。点検すべき信号機のある現場に車で向かっていたところ、交差点にて、不注意から停車中のコンテナトラックに後ろから衝突して骨折した。	22	～ 49
	15～	現場作業員からの要請により取り付け機器の代替品を配送後、事務所へ帰社する途		300

10	16	中の緩やかな左カーブにおいて、ブレーキを踏んだが間に合わず相手車両と衝突した。	21	～ 499
11	9～ 10	国道にて片側交互通行の作業中、停車させていた車両の通行を開始させ、1台目が規制帯を通過した後、2台目の車両が工事帯をめぐり直進し、作業帯内にいた被災者を撥ね、ボンネットに乗せたまま15m程進んだところで停車した。尚、加害者は居眠り運転であった。	44	10 ～ 29
11	16～ 17	太陽光発電工事現場で排出されたアスファルト殻を廃棄処理業社に向かって運搬中、道路横断側溝の道路と側溝の段差で車が上下に弾み、コントロールを失い、路肩から1m下の側溝に滑り落ち、農道とT字路との角に突き当たり負傷した。	63	1～ 9
12	14～15	当日の業務で、CCTVカメラ取付作業を終了し、帰社のため下り線を運転走行中、運転操作を誤り反対車線に飛び出した。上り線のガードレールにぶつかり180度回転したところ、上り線を走行していた車運搬用トラック（キャリアカー）に後ろから衝突され負傷した。	19	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html